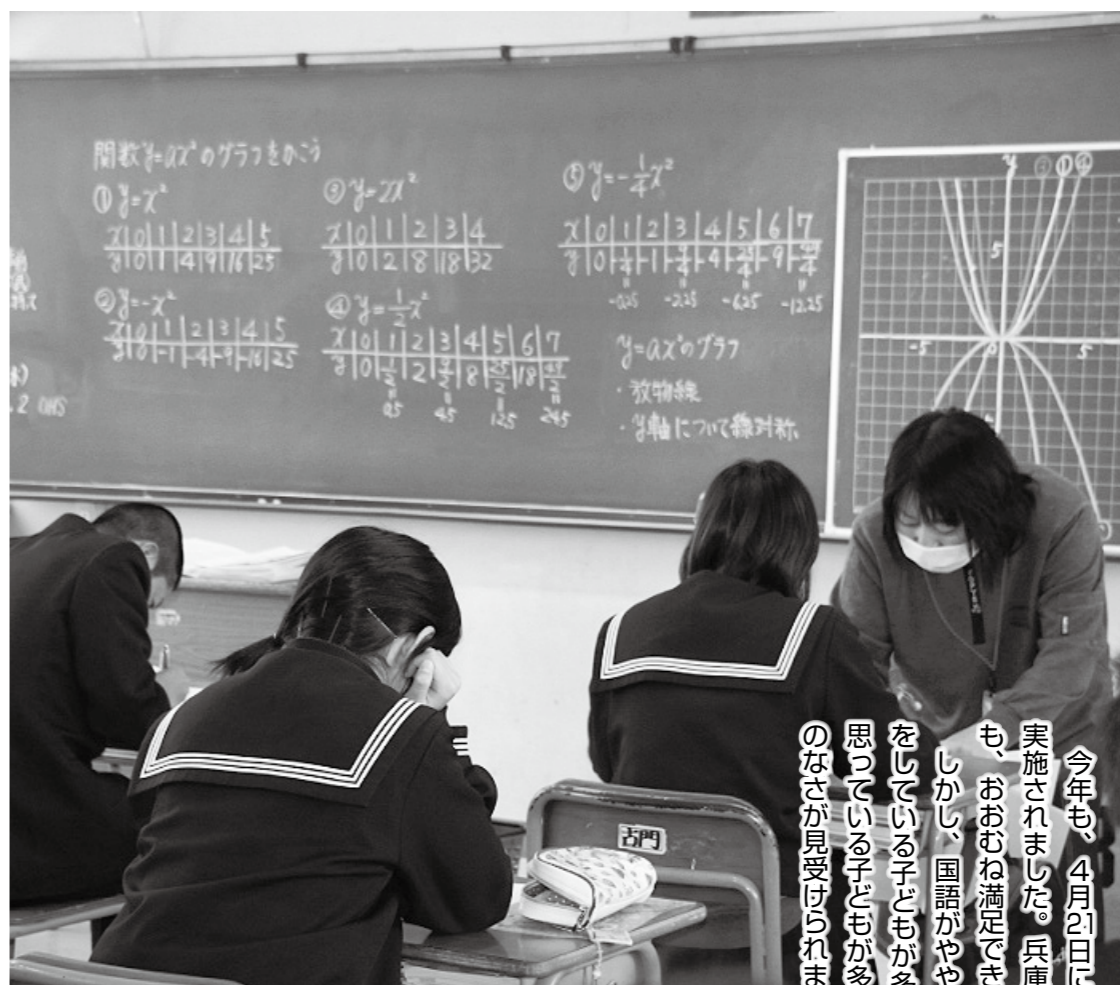


# 昨年度と同じく、算数・数学が得意である傾向は変わらず



今年も、4月2日に全国一斉に小学校6年生及び中学校3年生対象に3回目の全国学力・学習状況調査が実施されました。兵庫県の児童生徒の状況はおおむね満足できる状態にあります。播磨町の子どもについても、おおむね満足できる状態にあり、算数・数学が得意で、基礎は定着しているという結果でした。しかし、国語がやや苦手な傾向があり、昨年度と大きく変わっていません。生活面では、規則正しい生活を送っている子どもが多く、いじめがいないと思っている子ども、人の気持ちを分かる人間になりたいと思っている子どもが多いことが分かりました。しかし、休日の家庭学習の時間の少なさや自分自身の自信のなさが見受けられました。(この調査によって測定できる学力は、特定の一部分でしかありません)

## 学習面

### ●国語の力(中学校3年生)

漢字の書き取り、読みなど言語についての知識理解は定着しており、話の内容から必要な情報を的確に聞き取る力は優れています。自分の表現を工夫したり、自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶなど小学生と同様に表現力を高める必要があります。

### ●国語の力(小学校6年生)

国語好きの子どもが多く、国語の授業内容がよく分かると思っている児童が多いと言えます。昨年と同じく、言語についての知識は身に付いています。それらを活用して表現する力をつける必要があります。

### ●数学の力(中学校3年生)

数量、図形などについての知識・理解は定着しており、数学的な表現・処理もできています。ただ、表やグラフから情報を読み取りその事象を数学的に説明することや、方針や筋道を立てて証明する問題で努力を要するという結果が出ました。

### ●算数の力(小学校6年生)

算数好きの子どもが多く、算数の授業内容がよく分かると思っている児童が多いと言えます。問題の解き方が分からないときに、あきらめずにいろいろな方法を考える子どもは、全国・県平均を上回っています。ただし、学習したことを普段の生活の中で活用できるように応用力をつける必要があります。

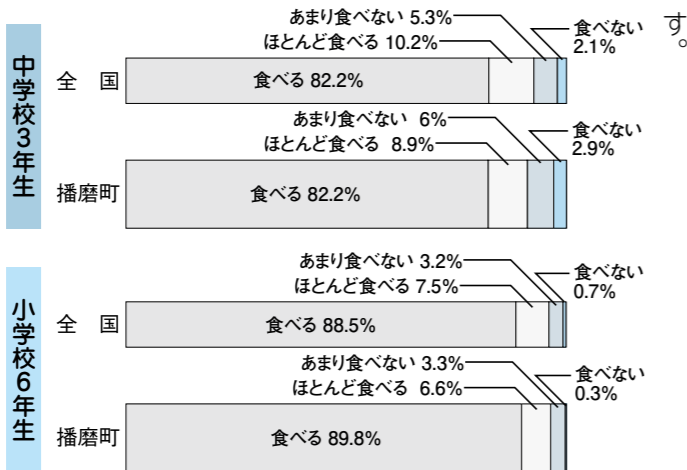
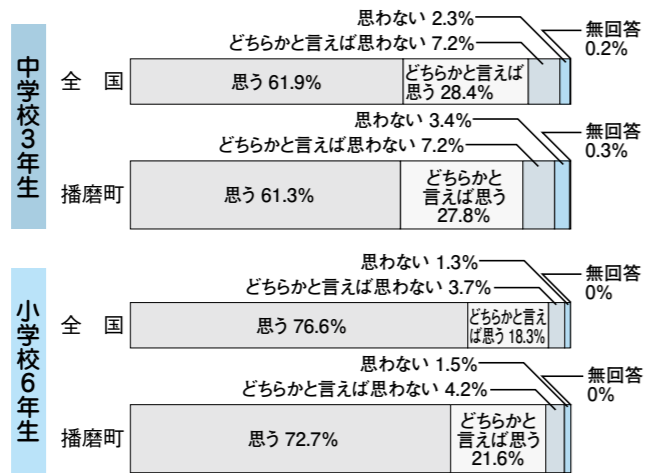
## 生活面

●「いじめはどんな理由があってもいじめなことだと思えますか」

播磨町の小学生の94.3%、中学生の89.1%、がいじめがいけないことと答えています。また、「人の気持ちに分かる人間になりたい」という質問に対しても、小学生で92.2%、中学生で90.0%がそうなりたいと答えており、いじめを許さない態度、思いやりの心が育っています。

●「毎日、朝食を食べていますか」

今年度も、きちんと朝食を食べる子どもが増えています。平成16年度の調査では、朝食を食べない小学生は21%、あまり食べない児童を含めると9%(平成21年度3.6%)、朝食を食べない中学生は4%、あまり食べない生徒を含めると13%(平成21年度8.9%)でした。本町での取り組み「早起き・早寝・朝ご飯」の効果が始まったのだと思います。



学年	よくできている		努力がいる	
	国語の力	算数の力	国語の力	算数の力
中学校3年生	基礎力や活用力	話の内容から必要な情報を的確に聞き取る力 文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりする力	自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶ 表現力	自分の意見や感情を伝えるために、適切な材料を選ぶ 表現力
	関心や態度	国語の授業の内容がよく分かる 読書が好き	授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書く	授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書く
小学校6年生	基礎力や活用力	数と式、数学的な表現処理 指数の計算の仕方 一次方程式を解くこと 比例・反比例の関係	表やグラフから必要な情報を読み取る	表やグラフから必要な情報を読み取る
	関心や態度	数学の授業がよく分かる 問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える
中学校3年生	基礎力や活用力	言語についての知識や理解 学年別漢字配当表の前の学年までに配当されている漢字の読み書きの力	読んだり書いたりする力 自分の立場を明確にして話し合う力	読んだり書いたりする力 自分の立場を明確にして話し合う力
	関心や態度	国語の勉強が好きだ 国語の授業がよく分かる	国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫する 長い文章を読むこと	国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫する 長い文章を読むこと
小学校6年生	基礎力や活用力	数と計算 数量や図形についての知識・理解・表現・処理 グラフの特徴を基に、数量の変化をとらえることができる	筋道を立てて考え判断する力	筋道を立てて考え判断する力
	関心や態度	算数の勉強が好きだ 算数の授業はよく分かる 問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で考える	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で考える

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果の分析と考察

●「自分にはよいところがあると思えますか」

昨年度に続き、今回も、小学生・中学生ともに肯定的に答えている割合は、全国平均を下回っています。人生を豊かに前向きに自分らしく生きるためにも自尊感情が必要不可欠です。幼児期の子育て、家庭教育、学校教育が連携しながら指導する必要があると考えています。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問については、小学生の94・6%が肯定的に答え、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問については、中学生の71・9%が肯定的に答えています。いずれも、全国平均を上回っています。

●「家の人と普段(月・金曜日)、朝食と一緒に食べていますか」

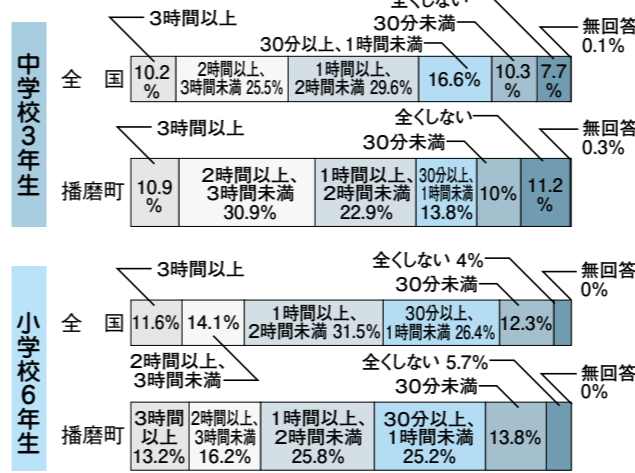
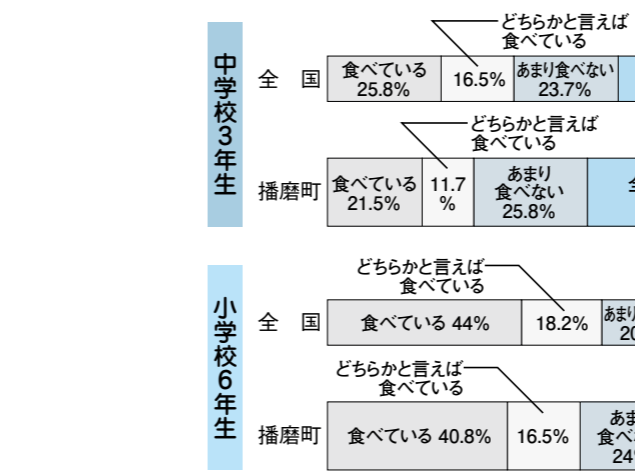
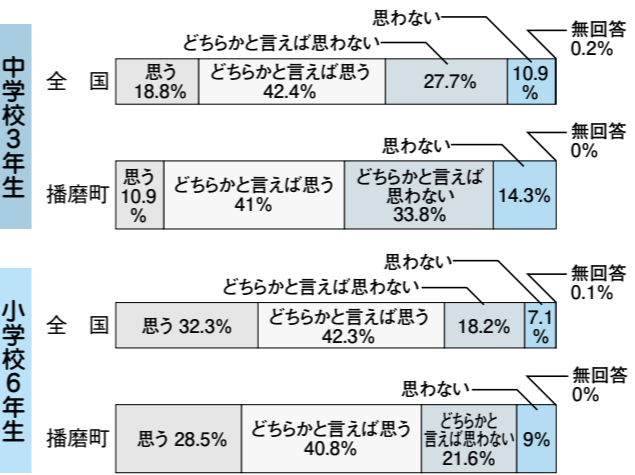
きちんと朝食を食べる子どもが増えています。平日に家族で朝食を食べている家庭の数は全国平均を下回っています。しかし、昨年度に比べ、平日に夕食と一緒に食べる家庭が増え、ほぼ全国平均と同じとなり、前回調査より改善しています。家族団らんの機会を増やし、「孤食」にならないように願います。

●「学校の授業以外に、普段(月・金曜日)にどれくらい(の時間)勉強しますか」

平日に、中学生で2時間以上勉強する生徒が41・8%いる反面、家庭学習が30分より少ない、全くしない中学生が21・2%います。また、小学生においても家庭学習が30分より少ない、全くしない児童が、19・5%います。いずれも、全国平均を上回っています。宿題だけでなく、自分から進んで予習・復習をすることが大切です。土曜日や日曜日の学校が休みの日に、1時間以下しか勉強しない児童生徒の割合も全国平均を上回っています。家庭学習の充実も学力向上へつながると考えています。

学習と生活

今回の調査でも、生活習慣・学習環境と学力とは密接な関係があるという結果が出ました。つまり、基本的な生活習慣ができており、規範意識(善悪の判断)が身に付いている児童生徒ほど学力が高い傾向にあるということです。たとえば、携帯電話の使い方について家族と約束していたり、家庭で自ら進んで苦手な教科を勉強したり、予習・復習に時間をかける児童生徒ほど学力が高いということです。この結果は、いわば当たり前の事でもあります。学校生活や家庭生活で当たり前のことを当たり前にできれば学力が向上することを示しています。



学校では、今回の調査結果を分析しそれぞれの学校に応じた指導方法の工夫・改善に取り組み、子どもの学習意欲を喚起する更に魅力的な授業をしていきます。また、基礎基本の徹底を図り知識・理解を定着させるだけでなく、学習した内容を活用し応用する思考力や表現力を養うために言語活動を重視した授業を目指します。家庭では、幼児期から子どもに基本的な生活習慣(生活リズム、食習慣、学習習慣、読書習慣)をつけ、規範意識を育てるとともに、自尊感情を育むことが大切です。

12月4日～10日は人権週間です

人権文化をすすめる町民運動に募集された 町内の幼稚園児や児童・生徒の人権カットや人権作文・詩の優秀作品を紹介します

これらの作品は、幼稚園児や小・中学生が体験したこと、自分の感じたことなどを素直な言葉やスケッチで表現しています。ぜひ皆さん、ご一読ください。

▼問い合わせ 学校教育グループ ☎079(4335)0545

「優つて思つた」  
播磨南中学校 3年  
大西野乃子

家庭科の教科書に秋雪くんのパージがあります。秋雪くんを見て、ずっと会っていないあき姉ちゃんの事を思い出しました。私が小学一年から二年の約二年間ほとんど毎日会っていた年上の友達です。写真を見てあき姉ちゃんを思い出したのは、秋雪くん何となく顔が似ているからです。そして、生きるすべてのことが命がけ——そのページの中の言葉を、以前にも

聞いたことがあったからです。あき姉ちゃんはダウン症という障害を持って生まれました。ダウン症は先天性の染色体の異常が原因なので、秋雪くんとかき姉ちゃんに似ているのだとわかりました。あき姉ちゃんは、ダウン症だけでなく、水痘症や心臓病など命に関わる病気が重くなって、生まれてすぐに何度も手術を受けたそうです。そして、やはり秋雪くんと同じように命が他の人よりも短いだろうと、あき姉ちゃんのご両親は告げられたそうです。

ちゃんは、その時も中学生でしたが、病氣のために身長が低く、太っているのが健康のために泳ぎに来ていました。練習が終わると更衣室で着がえる途中で、疲れて眠ってしまい、いつも私が起こしていました。そして着がえを手伝って一緒に帰ります。私が起こして手伝ってあげたのに、「早く、電気が消える。」と私をせかします。家に遊びに行った事もありません。ルームランナーがあつて、あき姉ちゃんは家族の人が百数える間走っていました。走り続けると、家族の人が喜ぶから頑張るそうです。ほめられることよりも家族の人の喜

ぶ姿が見たいのです。私に貸してくれる時は、あき姉ちゃんが数えます。私は頑張つて走つても終わりません。あき姉ちゃんは百まで数えられなかったのです。途中で数ええると適当な数に戻って数えていきます。私は走る事に一生懸命で気がついた時は、百はとくに過ぎていました。私はちよっと恥ずかしかつたけど、みんなと一緒に笑った事を覚えています。あき姉ちゃんは、きつと私のために一生懸命百が出てくるまで数えていたのだと思います。あき姉ちゃんには、お気に入りのイスがあつて、それは背もたれのついたクル

クル回るものです。あき姉ちゃんは私を反対向きに座らせて、音楽をかけて、ゆっくり回し続けました。音楽は、あき姉ちゃんの通う養護学校の校歌です。あき姉ちゃんのお母さんが、「これはあきの一番のお気に入り、のにも喜んでもらいたいから、サービスしているんだよ。」と言いました。私は、知らない曲とぐるぐる回される事に、びっくりしたけど、嫌な気持ちにはなりません。おばさんによると、あき姉ちゃんは私が気になるらしく、いつもやっつてもらってうれしい事を私にしているらしいのです。そして、私の世話をやきたいのだと聞きました。今思っても、その頃の私の方がきつと色々な事ができたとし、わかっていたはず。それでも、やっぱり嫌な思いがしたという記憶がありません。それからおばさんは、私や私の家族にあき姉ちゃんの事を話してくれました。生まれた時から何度も手術を受けなければならぬ障害を持っている事。小さな病気でも重症になってしまつ事。そして、時々からかわれていじめられる事などでした。よく覚えているのは、学校の帰り道に高校生に通せんぼされて帰れなくなった話です。あき姉ちゃんは、怖いのと、どうしたらいいのか分からないの

とで、動けなくなってしまうたのたろうと思えます。おばさんは、「何をしても命がけなんだよ。」と話していました。秋雪くんへのラブレターと同じ言葉です。私はまだ小さかったけれど、「命がけ」という言葉は今でも残っています。あき姉ちゃんは高校生になると、養護学校の寮に入って、プールに来ることができなくなり、会う事がなくなりました。そして、私が引越して本当に会えなくなってしまうました。

今、あき姉ちゃんは、もう二十二歳になってはいます。私の事を覚えていてくれていて、どううか。私はあの時、あき姉ちゃんの気持ちに本当に嬉しかったのです。言葉ではない一生懸命と自分らしい優しさが私に伝わっていました。久しぶりにあき姉ちゃんとの事を思い出して、自然に受け入れることのできたあの頃の私の事も思い出しました。成長して色々な事ができるようになったけど、大切な事を忘れてしまっていたような気がします。あき姉ちゃんのことを思い出すと、優しい気持ちになります。改めて命の尊さと、人として何が大切かを教えてもらいました。私はそれをもう二度と忘れません。あき姉ちゃんに出会えて本当に良かったです。私の事



「おともだちだいすき！」  
蓮池幼稚園 3歳児 たなか みさき

を忘れていてもいいので、あき姉ちゃんが健康で生活してくれていたらと願います。そして、きっとそうであると思っています。

「友達がいたから」

蓮池小学校 6年  
大江 彩恵

私は五年生まで大縄とびがとべませんでした。五年生までは、縄をまわしたりしていました。五年生で大縄の授業があるとき腹痛で休んでしまったこともありましたが、友達も休み時間について練習してくれて、とべるように

なりました。私はとべないことがはずかしくて「とべない」ってだれにも言えません。だから、お母さんが一人の友達にとべないということを書いてくれて、友達も「えーとべれんのー」とかはいわないで、「えー。そつやったん？」って練習しよな！」って書いてくれて「うれしかった」し「他の友達にも言ってみよ！」って思えました。その友達のおかげで他の友達に自分から言う勇気が出ました。それで学校で「大縄とべれんねん。もしよかったらでいいねんけど練習、いっしょにやってくれんか？」って勇気を出して他の友達に言つとみんな「いいでー」って答えてくれました。もうそのときは、うれしくてうれしくて、感謝感謝でした。その日の休み時間からいっしょに練習してくれました。私は縄に入るタイミングもわからなかったんで、縄に入るタイミングから教えてもらいました。まず、見本としてとんでもらって、「今！今！」ってタイミングを言ってもらって、タイミングがわかって、縄に入ることができるようになりました。次に連続でとべるように連続でとぶときに入るタイミングを覚えてもらいました。このときも見本としてとんでもらっ

て「今！」って言ってもらって連続で入れるようになりました。最後に教えてもらったのは、列の最後の人のあとに連続でとぶときの入り方です。このときも見本としてとんでもらったけど、タイミングはわかっていたので今度は、自分でタイミングを考えて入ったら入れました。そのあとは、みんなと同じくうらとべるように練習しました。このときもいろいろなことを教えてくれた友達はいっしょにとんでくれて、他の友達もいっしょにとんでくれてました。

へんねん。」って言ったときに、べつに私の悪口を言ったりはみんなしないで、みんなもいっしょに練習してくれて、教えてくれたおかげだと私は思っています。そのあとの大縄の授業が楽しみになりました。これもみんなのおかげだと思っています。でも、みんなには、「ありがとう。」しか言えなかったけど、その一言の中にはとても感謝の気持ちがありました。今でも「ありがとう。」しか言えないけど感謝の気持ちでいっぱいです。

そごはあかん、あかんねんで

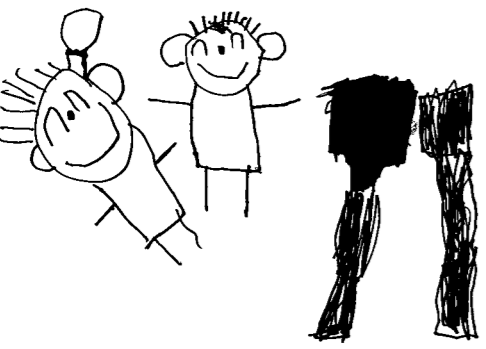
播磨南小学校 4年 小西 菜希

おにいちゃん なんてとめるん  
おねえちゃん なんてとめるん  
おっちゃん なんてとめるん  
おばちゃん なんてとめるん  
その下になにかあるかしつとる  
きいろいからわかるんちやつの点字ブロック  
みえるんちやつの 点字ブロック  
なあ、おっちゃん  
目が不自由な人がぶつかってけがしたらどうするん  
道が行き止まりやねんで  
ほんまにあかんねんそごは自転車をとめたいの

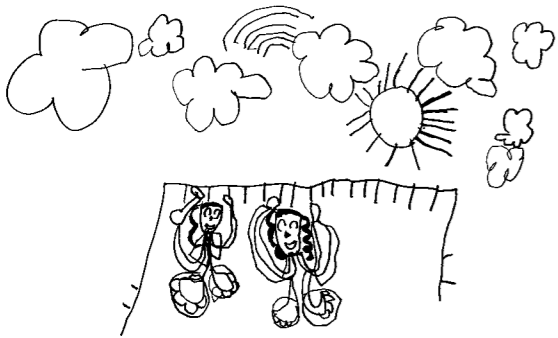
てんびん

播磨中学校 2年 松田 直樹

そのてんびんは  
何をかけても  
かたむくことはない  
いつても水平のままつかない  
でも  
そのてんびんはこわれていない  
なぜなら  
そのてんびんは  
命の尊さを計るてんびん  
何をかけても  
命の尊さは同じ



「お友達と一緒にブロックして遊んだよ。」  
播磨幼稚園 4歳児 みやがわ かずあき



「おともだちとうんていにちょうせんしたよ。」  
播磨西幼稚園 5歳児 おがわ しおり

### 悔しかった新人戦



▲さあー来〜い!

播磨南中学校

3年生が引退し、どの部も新チーム。先輩たちより良いチームを創ろうと、この新人戦に備えてきました。夏休み・2学期と、毎日毎日暑さにも負けずに一生懸命練習に取り組みました。

まずは陸上部。9月26日(出)・27日(日)の県新人大会では、上位入賞者続出。男子総合3位というすばらしい成績を収めることができました。続いて、他の運動部。いよいよ練習の成果を発揮するときです。10月2日(金)からの郡新人戦。どの部も優勝目指して精一杯のプレーを繰りひろげましたが、力一歩及ばず、悔しい思いを味わいました。来年の夏こそは、陸上部に続いて他の運動部も郡で優勝して東播・県へと駒を進めたいと思っています。雪辱を期して、毎日の練習で努力を積み重ねていきます。

今後の活動に応援よろしくお願いします。

### おもほり たのしかったよ!



▲こんなお芋を掘りました

播磨西幼稚園 年少組

毎日幼稚園のお芋のツルがどんどん伸びていくのを見ながら「いつお芋掘り?」と心待ちにしていた年少組の子どもたち。今日は楽しみにしていたお芋掘りの日です。友達と力を合わせて「よいしょ! よいしょ!」とお芋のツルをひっぱります。「お芋が見えてきたよ!」「あともう少し!」と今度は見えてきたお芋の周りの土を一生懸命掘りました。

「やったあ、こんな大きなお芋が掘れた!」「見て見て!このお芋、おひげが長いよ!」と自分の掘ったお芋に大満足です。友達と大きさを比べたり、数を数えたり、服も体も泥だらけになった子どもたちの顔にはニコニコ笑顔が広がっていました。



### 初めての体験 — アイマスク —



▲光のない世界とは…

播磨西小学校 5年生

10月に、5年生はアイマスク体験をしました。4年生の時に点字体験や盲導犬のお話を聞いていた子どもたち。今回は目の不自由な人が感じる不便さを体感し、手助けすることを学ぶことが目的でした。

アイマスクをつけての移動は予想以上に怖くて、とても大変だなと実感しました。目の不自由な人に接する機会があったら声をかけたり誘導したいという気持ちになったようです。

『最初はそんなにこわくないとおもったけれど、やってみると今どこにいるかもわからないし、しょうがい物が自分のそばにあってわかりません。ガイドの友達が私のわかりやすいように「〇〇に曲がるよ」「今から階段だよ」とやさしく言ってくれたのでわたしは(やっぱりやさしいガイドが目の不自由な人には必要なんだな)と思いました。(略)』

### 播磨幼稚園は工事中



▲幼稚園、早くできないかな?

播磨幼稚園 年長組

10月の初め、年長児が工事中の幼稚園の様子を見にいきました。

夏休みに入ると同時に工事が始まり、そばを通る度に幼稚園の姿が変わっていくの子どもたちは不思議に思ったり、ドキドキ、ワクワクしたりしていました。

幼稚園をつくる為に、工事のおじさんたちが大きな車を動かしたり、大きな木を運んだりしている姿を見て、

「おもたそう:」「わあ! ちからもち!」「すーい!!」と、とても興味津々で、新しい播磨幼稚園が出来るのを心待ちにしている子どもたちです。

早く新しい播磨幼稚園で遊びたいなあ!!



### すばらしい青空・運動会



▲ピラミッドも大成功!!

播磨南小学校

未明まで降った雨が心配されましたが、朝から急ピッチのグラウンド整備・準備が何とか間に合い、30分遅れで第27回秋季運動会が開催されました。

初めての運動会の1年生は、2年生とともに「ジギスカン」の曲に合わせて、元氣よく軽快にダンスを踊りました。3・4年生のダンスは「アジアの海賊」の曲に合わせて鳴子の音を会場いっぱい響かせ力強さが表現できました。3年生以上のクラス代表選手による紅白対抗リレーは、教師チームも参加し、アンカーを校長先生が走り、会場がとても盛り上がりました。

運動会の最後を締めくくるのは、5・6年生の組体操「命・輝くとき」でした。6年全員ピラミッドは学年全員の力を合わせて見事に成功しました。今年は白組が6年ぶりに勝ちました。

### コスモスの写真たてを作ったよ



▲みんなで教えてあげました

蓮池保育園

北部子育て支援センターから2歳児親子(10組)が保育園に遊びに来てくれました。ふれあい体操をし、歌をうたった後、グループに分かれて、コスモスの写真たてを作りました。「ここはこうするねんで」と見本を見せて手伝ってあげ、「マジックでぐるぐる描いていいよ!」どの色がいい?と手をとって優しく接する年長さんの姿がみられました。一緒に作った作品を大事そうに持って帰る小さいお友達を見て、うれしそうなるぐみの子どもたちでした。「また遊びに来てね」「また来るね」と会話ができ、楽しいひと時が過ぎました。地域の未就園児の親子との交流を通して、心も体も素直にすくすく、たくましく育てて欲しいと願っています。

